

Dental Hygienist 歯科衛生士とは

歯科衛生士ってどんな仕事……

あなたが歯科医院に行くと、先生よりも先に目に飛び込んでくる景色
てきぱきと機敏に動き、とびっきりの笑顔の対応、不安な気持ちをいつも
和らげてくれて、制服を格好良く着こなし、忙しそうに働いている、
あなたは歯科衛生士業務に目を奪われました。
先輩がとてもまぶしく映りましたか？

そんな先輩に、素敵なお歯の姿を感じ、
将来の自分にだぶらせてしまった経験が、きっと1度でもあるから、
今あなたは、このパンフレットを開いているんだと思います。

歯科衛生士ってそんな職業です。



あなたがこれから目指す 歯科衛生士という仕事について

歯科衛生士は、3年間の勉強と実習を通じて、他のどんな仕事にも負けないくらいのプロフェッショナルな教育を受け、国家試験ののちに、歯科衛生士という国家資格を頂きます。

一般的には歯科医院に勤務する人が多いですが、中には大学病院や病院に勤務をしたり保健福祉センターに勤務している方もいます。また経験を積んで、企業においてその資格を活用して頑張っている方もいます。歯科医院に勤めながら多くの学会に所属して研鑽を積み、認定歯科衛生士をとられる方も、最近では増えてきています。それは歯科医療自体が進化してきて、歯科衛生士の専門性が非常に重視されてきたからです。

超高齢社会の現代において、様々な分野から口腔ケアの重要性が注目を集め、その担い手の代表となる歯科衛生士という仕事は、今以上にやりがいのある職業となっていきます。

決して楽な仕事ではないかもしれませんが、あなたの一生を輝かせるだけの魅力は十分あると思います。

Memo **歯科衛生士になるには？**
3年間にわたる専門教育と様々な臨床実習を経て国家試験ののち歯科衛生士免許を取得。

歯科衛生士免許
国家資格であり、歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導等を通常業務とします。専門衛生士制度も各学会で認定され、インプラント治療や歯周治療での重要性が増しています。

口腔ケアと全身状態の密接な関係性は、高齢者の生活の質を大きく左右する為に、
歯科衛生士の存在意義は、近年ますます高くなっています。

Curriculum カリキュラム

1年生

歯科衛生士になるために必要な基礎知識や技術を学ぶ

歯科衛生士はコミュニケーション能力も欠かせません。患者さんを想う心や社会人としてのマナーや接遇を学ぶ機会もしっかりあります。歯科は材料も特殊なので、その点も少しとつきにくいけれど、未来に直結する勉強は奥が深く面白いです。

2年生

1年生で学習したことを臨床実習に活かす

九州大学病院をはじめとして、多くの施設での臨床実習が始まります。いよいよ歯科衛生士の卵として新しい経験を沢山します。実習の課題はそのまま卒後の臨床に直結する貴重な研修期間です。頭と体をフル回転でたくさんの事を吸収してください。

3年生

即戦力となる技術の習得と国家試験対策

多岐にわたる臨床・臨地実習によって歯科衛生士としての経験値を高め、実践能力に磨きをかけます。後半は、3年間の集大成として国家試験対策を十分に行い、万全の状態を受験を迎えます。

入学	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	総合教育	卒業
オリエンテーション	科学的思考の基盤	解剖学	歯科衛生士概論	臨床・臨地実習 介護福祉士実務者研修	国家試験 就職決定
	生物学	組織・発生学	医療倫理学		
	化学	生理学	歯科臨床概論		
	情報処理論	全身疾患の病態	保存修復学		
	心理学	歯・口腔の構造と機能	歯内療法学		
	人間と社会生活の理解	口腔解剖学(歯牙解剖を含む)	歯科補綴学		
	児童心理学	口腔生理学	矯正歯科学		
	言語表現法及び読解	口腔機能学	歯床歯科医学		
	接遇・面接技法	口腔病理学	摂食嚥下機能療法		
	歯科英語	口腔微生物学	口腔外科学		
英会話	歯科薬理学	小児歯科学			
医療接遇	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	歯科麻酔学			
コミュニケーションスキル	衛生学・公衆衛生学	障がい者歯科学			
ボランティア学	衛生行政・社会福祉	高齢者歯科学			
総合歯科学		歯科予防処置論			
		歯周病予防処置実習			
		歯科放射線学			
		歯科診療補助論(講義実習)			
		口腔介護論			
		口腔介護技術(実習)			

Pick Up **ピックアップカリキュラム**

- 情報処理論
- 接遇・面接技法
- 英会話
- コミュニケーションスキル
- ボランティア学
- 高齢者歯科学
- 食育

将来のためのカリキュラムがいっぱい!

